

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	国内運賃						授業形態	講義	
科目コード	534092	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員		Active・L	○
担当教員名	林 欣也							ICT活用	
授業概要	本授業は職業人としての専門知識を有する人材の養成を目的としています。つまり、この授業を通して交通機関の運賃料金の仕組み並びに計算の仕方を身につけることを目的としています。さらに、観光業界で必要な国内旅行業務取扱管理者(国家試験)取得を目的とした授業です。毎年、9月初旬から行われる国内旅行業務取扱管理者(国家試験)の試験科目である国内運賃、料金(JR・航空・宿泊・フェリー・貸切バス)を学び、合格できるよう同じ歩幅で指導していきます。								
関連する科目	旅行業特別演習Ⅱ、旅行実務技能論Ⅱ								
授業の方法と進め方	JR・航空・宿泊・フェリー・貸切バスの単元毎に、テキストに沿って学修し、単元毎の終了時に理解度確認テストを実施していきます。授業の進め方としては、随時学生に質問したり問題をグループで解かせたりする参加型の授業を行い、機材(Power Point)にてわかりやすく解説していきます。								
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、学修要領、評価基準等)								
第2回	JR運賃(乗車券)の解説 ①乗車券は様々な乗車券があり、それに対する取扱いには大人・小児・幼児・乳児によって取扱いが違います。その相違について学びます。								
第3回	JR運賃(乗車券)の解説 ②運賃を計算する方法、並びに運賃割引きについて学びます。								
第4回	JR運賃(乗車券)の解説 ③特定大都市内・東京都区内・東京山の手線内の計算の仕方について学びます。								
第5回	JR料金(特急券・急行券・座席指定券・寝台券・グリーン券・個室券等)の解説 ①料金の種類と料金計算の基礎について学びます。								
第6回	JR料金(特急券・急行券・座席指定券・寝台券・グリーン券・個室券等)の解説 ②在来線特急料金の計算・普通急行料金の計算について学びます。								
第7回	JR料金(特急券・急行券・座席指定券・寝台券・グリーン券・個室券等)の解説 ③在来線料金の乗継割引等について学びます。								
第8回	JR料金(特急券・急行券・座席指定券・寝台券・グリーン券・個室券等)の解説 ④グリーン料金・寝台料金・個室寝台料金の計算について学びます。								
第9回	JR料金(特急券・急行券・座席指定券・寝台券・グリーン券・個室券等)の解説 ⑤秋田新幹線・山形新幹線の料金計算について学びます。								
第10回	JR団体の解説 ①団体の種類・構成人員の区分・申込受付期間・指定保証金等について学びます。								
第11回	JR団体の解説 ②団体運賃の計算の仕方について学びます。								
第12回	国内航空運賃・料金について解説 (予約開始日と発売日・割引運賃・払戻手数料等)								
第13回	フェリー運賃・料金について解説 (自動車航送運賃・乗船券の通用期間・払戻手数料等)								
第14回	貸切バス運賃・料金について解説 (運賃の割引・料金の計算・違約料等)								
第15回	宿泊料金について解説 (計算の仕方・変更・取り消し・払戻し等)								
授業の達成目標	・国内旅行業務取扱管理者(国家試験)の資格を取得する。 ・教材等を通して専門知識を修得し、業界等で活躍できる知識を身につける。 ・各交通機関の運賃、料金を学び、公共交通機関について考察することにより、旅行プランを立てることができるようになる。								
学修成果との関連	6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。								
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 指定した教科書を事前に熟読し、問題を解いて次の講義内容を把握する(1時間程度)								
授業時間外学【復習】	〈復習〉 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理してください(1時間程度)								

課題に対するフィードバック	小テストの採点結果等の解答解説については返却後の授業にて行います。
評価方法・基準	・理解度確認小テスト70点、最終確認小テスト30点。
テキスト	・『一発合格!国内旅行業務取扱管理者試験テキスト&問題集』『2025年度版』『株)ナツメ社』『児玉寛子著』
参考書	・『国内運賃・料金』『発行 JTB総合研究所』
備考	このテキストは「旅行業特別演習Ⅱ」「旅行実務技能論Ⅱ」「ツアーコンダクター実務」でも使用します。